

2009年度

|  |   |     |       |
|--|---|-----|-------|
| 科目名  | 日本文学講読 I  |     |       |
| 担当教員   | 鈴木 利一   |     |       |
| 配当   | 日文1(2111)   | コード | 44100 |
| 開期   | 後期  | 講時  | 木曜日4限 |
|  |   | 単位数 | 2     |
| 授業テーマ  | 上代日本文学入門  |     |       |
| 目的と概要  | 日本上代文学の基本文献である萬葉集の読解を通して、上代文学全般への入門としたい。                  |     |       |
| 成績評価法  | 講義への出席状況(40%)、課題の提出状況(40%)、課題に取り組む姿勢(20%)等を勘案し、総合的に判断します。 |     |       |
| テキスト   | 佐竹昭広・木下正俊・小島憲之編『補訂版 萬葉集 本文篇』塙書房                           |     |       |
| 参考書  |   |     |       |
| 履修に当たっての注意・助言  |   |     |       |
| 講義計画   |   |     |       |
| <p>上代日本文学は仮名文字以前の成立であるため、諸作品はすべて漢字で記されています。そのため、原典表記をいきなり眺めた場合、一見それは難解きわまりない印象を受けることでしょう。しかし、実はそこに上代文献を読む醍醐味が隠されてもいるのです。とりわけ、その中心作品である萬葉集は、異国の文字である漢字で日本独特の文学形式である「うた」を記すという苦心の営みの成果であり、その存在自体が、当時の国際文化交流の産物であるとも言えるからです。この講義では、その収録作品を丹念に読み進めることを通して、萬葉歌の文学史的、日本語史的な意義を明らかにしていきたいと考えています。必要に応じて、関連諸学での文学作品の取り扱い方にもふれ、総合的な視点から作品を見る姿勢を養っていく予定です。基本的には講義形式とし、著名な萬葉歌を読み進めることを通して、萬葉集を原文のまま読み解くための方法や基礎知識を、文学的かつ語学的に解説していきます。講義内容は以下の通りです。</p> <p>①萬葉集概説(1-3回)<br/> ②斉明朝の文学—初期萬葉歌—(第4-6回)<br/> ③天智朝の文学—額田王作歌—(第6-8回)<br/> ④天武朝の文学—人麻呂歌集—(第9-11回)<br/> ⑤文武朝の文学—人麻呂作歌—(第12-15回)</p> |   |     |       |